

## 第2学年 社会科学習指導案

指導者 鈴木 健幸

### 1 単元名 開国と幕府政治の終わり

#### 2 目標

- (1) 幕府が対外政策を転換して開国したことに対する関心を高め、その政治的および社会的な影響について意欲的に追究しようとする。 (社会的事象への関心・意欲・態度)
- (2) 欧米諸国のアジアへの進出や開国が、幕府や社会に与えた影響について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。 (社会的な思考・判断・表現)
- (3) 開国までの経緯や、開国後に攘夷運動が高まり江戸幕府が滅亡に至るまでの過程について、様々な資料を収集・活用し、読み取ったり、図表にまとめたりすることができる。 (資料活用の技能)
- (4) 欧米諸国のアジア進出を背景に、幕府が対外政策を転換し開国したことで、幕府への批判が高まり江戸幕府が滅亡したことを理解し、その知識を身に付けることができる。 (社会的事象についての知識・理解)

#### 3 単元について

##### (1) 単元観

本単元は、中学校学習指導要領解説社会編「歴史的分野の内容」「イ」を受けて設定したものである。ここでは、幕府が対外政策を転換して開国したことと、その政治的及び社会的な影響を理解させ、それが明治維新の動きを生み出したことに気付かせることを主なねらいとしている。内容の取り扱いには、「アの欧米諸国のアジア進出と関連付けること」さらに「エ 公民的分野との関連にも配慮すること」とあることから、事象間の関連を説明したり、課題を設けて追究したり、意見交換したりする言語活動を重視して学習内容の確かな理解と習得を図る必要がある。

##### (2) 生徒観

〈実態調査〉		(平成*年*月*日 調査 *人)	
1 グループ学習は好きですか。		はい*人	いいえ *人
2 グループ学習のなかで、自分の考えをきちんと主張することができますか。		はい*人	いいえ *人
3 グループ学習のなかで、友達の考えをきちんと聞くことができますか。		はい*人	いいえ *人
4 グループ学習のなかで、友達と意見が対立した場合、あなたはどうしますか。(複数回答可)			
自分の意見を通そうとする。 *人		自分の意見に友達の意見も取り入れる。 *人	
友達の意見を通そうとする。 *人		多数決で決める。 *人	

事象間の関連を説明したり、課題を設けて追究したり、意見交換したりする言語活動は、これまでの学習からも、好きな生徒が多い。また、自分の考えを主張したり、友達の考えを聞いたりすることもほとんどの生徒ができる。しかし、相手と意見の対立が起きた場合の合意形成については、課題があり、指導上の工夫が必要である。

##### (3) 指導観

本単元では、話合いやディベートなどの活動を重視し、対立した意見を合意に導く場を多く設定することで、考えを深化させたい。さらに、話合い活動において一人一役を務める学習形態を多く設定することで、自分の考えが整理しやすくなるとともに、自分では気付かなかった視点を見つけたり、友達の考えのよさを認めたりすることにもつなげたい。このように、3年生につながる意見の対立と合意を体験させ、言語活動をより活発に展開していきたい。

本時では、「ペリーの要求に対して、幕府はどのような決断を下したのだろうか」という学習課題に対して、「もし、私が当時の大名ならば…」という立場から思考できるようにする。次に各グループで開国、攘夷を決断し、全体で共有化を図る活動を通して、幕府が対外政策を転換して開国したことを理解できるようにする。その際に、ロールプレイを取り入れ、当時の状況を再現することで、より身近に当時の状況を体験できるようにする。

#### 4 学習計画 (8時間取扱い)

学習計画 (時間)	学習内容	観点別評価計画			
		関意態	思判表	技能	知・理
第1・2時	学習計画をたてる①(役割の決定)(討論形式の準備)	○			
第3時	賛成派?反対派?外国船打払令に対して、大名としてのあなたの意見は?		○		
第4時 (本時)	開国派?攘夷派?ペリーの要求に、大名としてのあなたの決断は?		○		
第5時	幕府派?倒幕派?あなたが当時の大名ならば?				
第6・7時	この時代を振り返ってみよう(まとめ活動)			○	
第8時	この時代を振り返ってみよう③(小テスト)				○

## 5 本時の学習

### (1) 目標

ペリーの要求に対して、幕府はどのような決断を下したのだろうかという学習課題に対して、「もし、私が当時の大名ならば？」という立場から、各グループに開国・攘夷を決断させ、全体で、共有化を図る活動を通して、幕府が対外政策を転換して開国したことを理解することができる。

### (2) 学力向上のための具体的工夫点

当時の状況を実際に代表生徒によるロールプレイを行い、見ている生徒も本当の当時の大名になったつもりで授業を展開し、さらに、授業の進行役も実際に生徒が行うことで、お互いが、興味・関心をもって学び合う。

### (3) 準備・資料

電子黒板、プロジェクター、掲示物、赤青カード、ワークシート

### (4) 展開

学習内容及び活動	形態	指導上の留意点と評価の観点
<p>〈授業進行：代表生徒2名〉</p> <p>1 本時に学習する登場人物を紹介する。 ・ペリーの肖像画</p> <p>2 本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>『ペリーの要求に対して、幕府はどのような決断を下したのだろうか。』</p> <p>「自分が当時の大名になったつもりで、要求をのむべきか？戦うべきか？決断を下そう。」</p> </div> <p>〈説明内容〉</p> <p>『私たちが、これからロールプレイをします。みなさんには、当時の大名になったつもりで、のちほど「ペリーの要求をのむべきか」それとも「戦うべきか」決断して欲しいと思います』</p> <p>3 代表生徒によるロールプレイを行う。 〈ロールプレイ：代表生徒4名〉</p> <p>(1) 役割の紹介 (2) 場面①ペリー来航の場面 (3) 場面②ペリーと将軍の会談の場面 (役割) 将軍・家来・ペリー・ナレーター</p> <p>4 開国・攘夷の決断を下す。</p> <p>(1) 個人 開国・攘夷の決断を下す。 (2) 個人 5分～10分程度で決断理由を考える。 (3) グループ 5分～10程度で決断し、理由を考える。 (4) グループの決断を黒板掲示し、全体で確認する。</p> <p>5 本時の課題のまとめをする。</p> <p>・実際の幕府の決断を教科書から個人で調べ、自分の言葉でまとめ、発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>幕府は、1年後に開国を決断し、日米和親条約を結んだ。</p> </div> <p>・ビデオ視聴することで本時に学習したことでもう一度、確認する。</p> <p>6 自己評価（授業の感想）を記入する。</p>	コの字	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペリーの肖像画を黒板に掲示し、生徒に視覚的に捉えらえられるようにし、学習意欲を喚起する。</li> <li>コの字型の机の隊形の真ん中でロールプレイをし全体にロールプレイが見られるようにする。</li> <li>きちんと全員がみる雰囲気を確認してからスタートするように合図を代表者にする。</li> <li>ロールプレイの演技中に分かりやすいように必要な資料を黒板、プロジェクターで紹介する。           <ul style="list-style-type: none"> <li>当時の日本人が描いたペリーの肖像画</li> <li>ペリーの要求内容</li> <li>アヘン戦争で清がイギリスに敗れた絵</li> </ul> </li> <li>個人で開国、攘夷を決断する際に、自分が開国と決断したのならば赤いカードを机上に立て、攘夷と決断したのならば青いカードを机上に立てることで、他者と自分の決断の違いを分かるようにし、全体に自分の決断を見えるように工夫する。</li> <li>各グループにホワイトボードとマーカーを準備し、話し合った内容を代表者が記入するように指示する。</li> </ul>
	グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>各グループから出された決断を黒板に掲示し、さまざま考えがあることを全体で認識できるようにする。</li> <li>当時の大名の意見をまとめたグラフをプロジェクターで提示し、実際に意見が分かれていたことを確認する。</li> <li>課題をまとめられなかった生徒に、ビデオを視聴させることで、本時のまとめができるように工夫する。</li> <li>本時の学習について振り返るとともに、全体の取り組みを賞賛し、学習意欲の持続化を図る。</li> </ul>
	一斉	<p>評</p> <p>開国・攘夷を的確に判断し、日米和親条約という語句を使ってまとめることができる。 (観察・発表・ワークシート)</p>